

# 困難や不安を抱える女性をつながりサポート事業【福島県】

個別事業費	9,920千円
交付金額	7,439千円

## 地域の実情と課題

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済的困窮を伴う孤立や孤独を深める女性が増えており、以降、近年では物価上昇などにより、引き続き生活に困難や不安を抱える女性の状況は好転していない。
- ・相談件数は毎年度2,000件を超えており、相談内容は多岐にわたる。県内各地で対応に当たるNPOの相談件数は高止まりであり、地域に根付いた取組を継続し、潜在化を防ぐ必要がある。

## 事業の特徴

生活に困難や不安を抱える女性が社会との絆やつながりを回復できるよう、県内のNPO団体等と連携し、県内各方部に相談窓口を設置し、相談事業（電話・SNS相談、出張相談等）、訪問支援、継続的に交流・支援ができる場（居場所）の提供、生理用品等の提供を行ったほか、相談員等のスキルアップのための研修を実施した。

## 事業の効果

NPO団体等の知見や能力を活用した相談事業の実施により、各種相談ニーズに対応し、生活に困難や不安を抱える女性と社会とのつながりの回復（支援）につながった。

- ・相談件数 ※居場所の利用件数も含む  
2,244件（実績）

## 目的・目標

生活に困難や不安を抱える女性が社会との絆やつながりを回復できるよう、NPO団体等の知見や能力を活用し、相談の実施と支援体制の強化を図る。

- ・相談件数 ※居場所の利用件数も含む  
2,000件（目標）

## 連携団体

- 【委託先】(公財)福島県青少年育成・男女共生推進機構（福島県男女共生センター）
- 【再委託先】NPO団体等 6団体
- 【生理用品の配布先】子ども食堂、大学等、NPO団体等

## 今後の課題

相談件数は毎年度2,000件を超えており、相談内容は多岐にわたる。そのため、相談員等の更なるスキル向上が課題となっている。

# 事業の概要

## 困難や不安を抱える女性のつながりサポート事業

### 【委託先】(公財)福島県青少年育成・男女共生推進機構

- 電話相談・面接相談
- 専門相談(法律、健康、生活設計)
- 生理用品の提供(子ども食堂、大学等、NPO団体等)
- 相談員への研修

### 【再委託先】NPO団体等 6団体

- 継続的に交流・支援できる場(居場所)の提供
- 出張相談、訪問支援
- 電話相談、SNS相談
- 生理用品の提供

### ・相談件数

2,244件

### ・(内訳)

(1) 居場所の提供	645件
(2) 出張相談(サロン)	213件
(3) 訪問相談	94件
(4) 電話・SNS相談	1,285件
(5) 専門相談	7件

### ・生理用品の提供数

9,087パック

### ・相談員への研修(全2回)

## 生活にお困りの女性の皆さん、 少しお話してみませんか？

相談したり、安心して過ごせる居場所づくりを県内各地方で行います。  
生理用品の提供も行います。**ひとりで悩まずご相談ください。**

### 相談



- ・不況で仕事がなくなった
- ・収入が減って子育てが大変
- ・さびしさを感じる など

不安なことについて、  
何でもお話しください。

### 居場所づくり

様々なものづくり  
体験や、気軽にお話  
して過ごせるスパー  
スなど、元気になる  
居場所づくりを  
します。

